

最高峰の音色とハーモニー
多彩な編成で聴く2日間



MUSICA

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団員による室内楽

ムジカ・レアーレ

2018
第1日 11.20 火 19:00 開演(18:30 開場)

- モーツァルト:オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K.370 (オーボエ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
- レントゲン:弦楽三重奏曲 第14番 ハ短調 (ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
- シュルホフ:ディヴェルティメント (オーボエ、クラリネット、ファゴット)
- ブラームス:クラリネット五重奏曲 ロ短調 作品115 (クラリネット、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ)

2018
第2日 11.21 水 14:00 開演(13:30 開場)

- ベートーヴェン:弦楽三重奏曲 ハ短調 作品9 (ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
- ブリテン:幻想四重奏曲 (オーボエ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
- イペール:木管三重奏のための五つの小品 (オーボエ、クラリネット、ファゴット)
- プーランク:クラリネットとバスーンのためのソナタ (クラリネット、ファゴット)
- メンデルスゾーン:弦楽五重奏曲 イ長調 作品18 (ヴァイオリン2、ヴィオラ2、チェロ)

出演 イヴァン・ボディオモフ(首席オーボエ) アルノ・ピタース(クラリネット) サイモン・ワン・ホーレン(ファゴット) 内藤淳子(ヴァイオリン)
シルヴィア・ファン(ヴァイオリン) 波木井 賢(首席ヴィオラ) 金丸葉子(ヴィオラ=11/21公演のみ) ジュリア・トム(チェロ)

浜離宮朝日ホール

都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ
東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2階 TEL.03-5541-8710

全席指定・税込 各6,000円 | 6月6日(水)10:00発売 |

主催:朝日新聞社 後援:オランダ王国大使館

朝日ホール・チケットセンター — 03-3267-9990 (日祝除く10:00-18:00)

朝日ホール・チケットセンター

- イープラス — <http://eplus.jp/>
- チケットぴあ — 0570-02-9999 (Pコード:118-403) <http://t.pia.jp>
- ローソンチケット — 0570-000-407 (オペレーター:10:00-20:00) <http://l-tike.com/>
0570-084-003 (Lコード:34690 自動音声対応24時間)

問い合わせ:朝日ホール・チケットセンター — 03-3267-9990 (日祝除く10:00-18:00)

※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございます。曲目の変更に伴う払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。※未就学児の入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。イベント託児 マザーズ(要予約) 0120-788-222

名曲と、知られざる傑作を、最高水準の演奏で

オランダのロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の現役団員による室内楽団、ムジカ・レアーレの東京公演。2つの異なるプログラムによる2日間の公演で、世界的に高く評価される音色とハーモニーを届けます。ムジカ・レアーレは、プログラムに応じて自在に楽団員を選抜するのが特徴。王道の名曲から、あまり知られていない傑作にいたるまで、多彩なプログラムを世界最高水準の演奏で聴かせます。



イヴァン・ポディオモフ(首席オーボエ)

Ivan Podyomov, Principal Oboe

モスクワのグネーシン音楽大学、ジュネーブ音楽院で学ぶ。同音楽院在学中にソニー・オーボエコンクール(2009年)、ミュンヘンARD国際音楽コンクール(2011年)など数多くのコンクールで優勝。バンベルク交響楽団の首席オーボエ奏者を経て、2016年にロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団に入団。



アルノ・ピターズ(クラリネット)

Arno Piters, Clarinet

クラウディオ・アバド創設グスタフ・マーラー・ユーゲント管弦楽団、欧州連合ユース管弦楽団などのメンバーとして演奏。ソリストとして欧州のオーケストラと多数共演。室内楽ではオランダ内外の音楽祭に出演。2001年～2003年オランダ放送響を経てロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団のクラリネット及びE♭クラリネット奏者。



サイモン・ヴァン・ホーレン(ファゴット)

Simon Van Holen, Fagott

8歳よりファゴットを始める。ハーグ王立音楽学校を卒業、ベルリンフィル、チューリッヒ・トーン・ハレ管などでエキストラとして演奏後、デュッセルドルフ交響楽団でソロ・コントラバス奏者に就任、2012年よりロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団員。



内藤 淳子(ヴァイオリン)

Junko Naito, Violin

東京芸術大学を経て、オランダのユトレヒト音楽院卒業。1997年、アンサンブル金沢・新人登竜門優秀賞に選ばれた後、京響、広響、札幌等と定期公演で協演。ヨーロッパ各地の音楽祭参加、現代曲の日本内外での初演など幅広く活動する。2002年よりロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団第一ヴァイオリン奏者。第8回岩城宏之音楽賞を受賞。



シルヴィア・ファン(ヴァイオリン)

Sylvia Huang, Violin

ブリュッセル芸術アカデミーで研鑽を積む。2004年ベルフィウス・クラシック・ナショナル音楽コンクールとライオンズ欧州音楽コンクールで優勝。2012年9月にベルギー国立管弦楽団の第二ヴァイオリンに加わり、2014年より首席奏者。2014年8月よりロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の第一ヴァイオリン奏者。室内楽、ソロでも幅広く出演している。



波木井 賢(首席ヴィオラ)

Ken Hakii, Principal Viola

東京芸術大学大学院修了、東京フィル首席奏者を経てケルン音楽大学で学ぶ。スカラ座オーケストラとの演奏でイタリア音楽批評家賞を受賞。G.クルターグ作品集のCDが2003年ニューヨークタイムスのベストCDに選ばれた他、ドイツ批評家賞、オランダエディソン賞などを受賞。1992年よりロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の第一ソロ・ヴィオラ奏者。



金丸 葉子(ヴィオラ)

Yoko Kanamaru, Viola

桐朋学園大学音楽科卒業後、ドイツへ留学。国際コンクールで優勝・入賞を重ねる。室内楽のレパートリーも広く、フライブルグの室内楽フェスティバル、サイトウキネン・フェスティバルなどに参加。2003年よりロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団ヴィオラ奏者、2012～2013年にリンブルグ交響楽団第一ヴィオラ首席奏者を兼任。



ジュリア・トム(チェロ)

Julia Tom, Cello

米ジュリアード音楽学校で研鑽を積む。同時にハーバード大学で英文学を学ぶ。トルネオ国際コンクールで優勝。独奏者としてサンフランシスコ響、オークランド響など多くの楽団と協演。プレーメン・フィルハーモニー管弦楽団の首席チェリストを務めたのち、2010年1月にロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団に入団。